

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月1日

上場取引所 東 大

上場会社名 株式会社 マイスターエンジニアリング  
 コード番号 4695 URL <http://www.mystar.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 菊地 幸雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 鈴木 利雄  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

TEL 043-296-1171

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	3,884	—	95	—	111	—	39	—
20年3月期第1四半期	3,524	8.8	30	—	48	193.3	14	—

  

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	4.33	—
20年3月期第1四半期	1.57	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	8,976	6,438	70.7	696.00
20年3月期	9,345	6,500	68.6	703.31

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 6,346百万円 20年3月期 6,413百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	5.00	—	10.00	15.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	5.00	—	10.00	15.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	8,200	—	250	—	280	—	120	—	13.16
通期	16,000	3.5	750	3.4	800	3.4	360	10.5	39.48

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 9,125,000株 20年3月期 9,125,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 6,199株 20年3月期 6,199株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 9,118,801株 20年3月期第1四半期 9,118,801株

1. 上記に記載した予想数値は、発表日現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、平成21年3月期の第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、平成20年5月8日に公表いたしました「平成20年3月期 決算短信」の「3.平成21年3月期の連結業績予想」の第2四半期連結累計期間の業績予想を修正しております。修正の内容ならびに修正の理由につきましては、本日別途公表しております「平成21年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、米国サブプライムローン問題に端を発した原材料高、円高の長期化により、企業部門では収益の悪化から設備投資は減少し始め、家計部門も実質的な購買力を低下させております。

こうした中、メカトロ関連事業においては、半導体業界は業績の低迷が顕著となりましたが、液晶業界は回復の兆しが見え始めており、また、昨年夏に株式を取得した東洋保全工業株式会社の業績が反映したことで、売上高は1,599百万円（前年同期比7.3%増）となりました。ファシリティ関連事業においては、昨年の建築基準法改正の余波を受け、住宅着工件数が減少するなど不動産業界も混乱し、当社を取り巻くビジネス環境は不透明感が増大しているものの、既存の商圏の守りの徹底と営業力の強化を図った結果、また、下半期に予定していた工事が前倒しで実施された影響も相俟って、売上高は1,806百万円（前年同期比15.4%増）となりました。また、コンテンツサービス事業においては、ホール部門、イベント部門ともに順調に推移し、売上高は478百万円（前年同期比2.1%増）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,884百万円（前年同期比10.2%増）、営業利益は95百万円（前年同期比211.3%増）、経常利益は111百万円（前年同期比127.9%増）、四半期純利益は39百万円（前年同期比174.9%増）となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### (1) 財政状態

当第1四半期連結会計期間末の総資産は8,976百万円となり、前連結会計年度末に比べ368百万円減少いたしました。流動資産は4,963百万円となり、322百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金の418百万円の減少、受取手形及び売掛金の81百万円の減少及び仕掛品147百万円の増加等であります。固定資産は4,013百万円となり、45百万円減少いたしました。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は2,538百万円となり、前連結会計年度末に比べ306百万円減少いたしました。主な要因は、買掛金の86百万円の減少、未払法人税等の156百万円の減少及び賞与引当金の121百万円の減少等であります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は6,438百万円となり、前連結会計年度末に比べ62百万円減少いたしました。主な要因は、配当金の支払い91百万円と四半期純利益39百万円の計上による減少であります。

#### (2) キャッシュ・フロー

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ418百万円減少し、2,463百万円となりました。

営業活動の結果、使用した資金は319百万円となり、これは主に税金等調整前四半期純利益111百万円、賞与引当金の減少額121百万円、たな卸資産の増加額149百万円及び法人税等の支払額220百万円等によるものであります。

投資活動の結果、使用した資金は8百万円となり、これは主に有形固定資産の取得による支出6百万円等によるものであります。

財務活動の結果、使用した資金は91百万円となり、これは配当金の支払額91百万円によるものであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、平成20年5月8日に公表いたしました「平成20年3月期 決算短信」の「3. 平成21年3月期の連結業績予想」の第2四半期連結累計期間の業績予想を修正しております。修正の内容ならびに修正の理由につきましては、本日別途公表しております「平成21年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### ①簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法は、年度予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法としております。

##### ②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②たな卸資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産については、従来、主として最終仕入原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として最終仕入原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価の切下げの方法)により算定しております。

この変更による、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,528,185	2,946,670
受取手形及び売掛金	1,910,824	1,992,260
原材料	5,046	4,479
仕掛品	169,524	22,018
未成工事支出金	47,875	49,847
貯蔵品	31,518	27,979
その他	283,075	247,639
貸倒引当金	△12,480	△4,460
流動資産合計	4,963,570	5,286,435
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,113,148	1,125,435
土地	1,087,070	1,087,070
その他(純額)	79,649	73,155
有形固定資産合計	2,279,868	2,285,661
無形固定資産		
のれん	214,481	238,277
その他	59,691	59,538
無形固定資産合計	274,173	297,816
投資その他の資産		
投資有価証券	580,946	605,968
差入保証金	469,421	469,844
その他	432,534	423,914
貸倒引当金	△23,578	△24,475
投資その他の資産合計	1,459,324	1,475,252
固定資産合計	4,013,366	4,058,730
資産合計	8,976,936	9,345,165
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	693,580	780,102
短期借入金	50,000	50,000
未払法人税等	78,277	235,060
賞与引当金	269,451	391,230
その他	699,940	643,747
流動負債合計	1,791,249	2,100,140
固定負債		
退職給付引当金	583,231	580,398
役員退職慰労引当金	46,773	45,633

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
長期預り保証金	117,104	118,366
固定負債合計	747,108	744,398
負債合計	2,538,358	2,844,538
純資産の部		
株主資本		
資本金	981,662	981,662
資本剰余金	956,962	956,962
利益剰余金	4,314,329	4,366,058
自己株式	△3,099	△3,099
株主資本合計	6,249,854	6,301,583
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	96,885	111,772
評価・換算差額等合計	96,885	111,772
少数株主持分	91,837	87,271
純資産合計	6,438,578	6,500,627
負債純資産合計	8,976,936	9,345,165

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	3,884,312
売上原価	3,111,008
売上総利益	773,304
販売費及び一般管理費	677,312
営業利益	95,991
営業外収益	
受取利息	114
受取配当金	2,651
受取補償金	1,928
助成金収入	11,358
その他	2,422
営業外収益合計	18,475
営業外費用	
支払利息	1,340
支払補償費	1,522
その他	2
営業外費用合計	2,865
経常利益	111,601
税金等調整前四半期純利益	111,601
法人税等	67,575
少数株主利益	4,566
四半期純利益	39,458

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	111,601
のれん償却額	23,795
減価償却費	23,621
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△121,778
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△15,000
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2,833
その他の引当金の増減額 (△は減少)	8,263
受取利息及び受取配当金	△2,766
支払利息	1,340
売上債権の増減額 (△は増加)	81,435
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△149,638
仕入債務の増減額 (△は減少)	△86,522
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△14,368
その他の資産の増減額 (△は増加)	△35,193
その他の負債の増減額 (△は減少)	70,814
その他	1,812
小計	△99,750
利息及び配当金の受取額	2,766
利息の支払額	△1,340
法人税等の支払額	△220,694
営業活動によるキャッシュ・フロー	△319,018
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	△12
有形固定資産の取得による支出	△6,068
差入保証金の差入による支出	△3,635
その他	1,473
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,241
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
配当金の支払額	△91,188
財務活動によるキャッシュ・フロー	△91,188
現金及び現金同等物に係る換算差額	△47
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△418,496
現金及び現金同等物の期首残高	2,882,286
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,463,789

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日) (単位:千円)

	メカトロ 関連事業	ファシリ ティ関連事 業	コンテンツ サービス 事業	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,599,306	1,806,785	478,221	3,884,312	—	3,884,312
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	141	7,198	7,339	(7,339)	—
計	1,559,306	1,806,926	485,419	3,891,652	(7,339)	3,884,312
営業利益	99,177	36,985	28,702	164,865	(68,874)	95,991

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、市場の類似性により区分しております。

2. 会計処理の方法の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

「定性的情報・財務諸表等」4.(3)②に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用しております。この変更による、営業利益に与える影響額は軽微であります。

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)においては、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載は省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。



## 「参考資料」

## 前四半期に係る財務諸表等

## (1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間(平成19年4月1日～6月30日)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	3,524,533
II 売上原価	2,896,964
売上総利益	627,568
III 販売費及び一般管理費	596,732
営業利益	30,835
IV 営業外収益	20,258
V 営業外費用	2,119
経常利益	48,975
税金等調整前四半期純利益	48,975
法人税、住民税及び事業税	33,188
法人税等調整額	-
少数株主利益	1,435
四半期純利益	14,351

## (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第1四半期連結累計期間(平成19年4月1日～6月30日)

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	48,975
のれん償却額	12,876
減価償却費	23,233
賞与引当金の増加額又は減少額	△145,336
退職給付引当金の増加額又は減少額	6,238
その他の引当金の増加額又は減少額	△4,096
受取利息及び受取配当金	△1,398
支払利息	1,117
売上債権の増加額又は減少額	286,252
たな卸資産の増加額又は減少額	13,278
仕入債務の増加額又は減少額	△251,507
未払消費税等の増加額又は減少額	△28,481
その他の資産の増加額又は減少額	△23,802
その他の負債の増加額又は減少額	37,648
その他	△1,159
小計	△26,161
利息及び配当金の受取額	1,398
利息の支払額	△1,117
法人税等の支払額	△182,867
営業活動によるキャッシュ・フロー	△208,748
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	△34
定期預金の払戻による収入	4,602
有形固定資産の取得による支出	△9,624
差入保証金の支払による支出	△4,143
その他	1,841
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,359
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額	△14,500
配当金の支払額	△91,188
財務活動によるキャッシュ・フロー	△105,688

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	1,343
V 現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)	△320,452
VI 現金及び現金同等物の期首残高	2,374,882
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	2,054,430

## (3) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(平成19年4月1日～6月30日)

(単位:千円)

	メカトロ 関連事業	ファシリティ 関連事業	コンテンツ サービス 事業	連結
売上高	1,490,707	1,565,241	468,583	3,524,533